

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	意識啓発事業					継続	
コード	21	-	23	-	01	-	00
担当部署	市民部	男女共同参画課		男女共同参画担当		予算事業名	男女共同参画推進
						予算事業コード	会計 10 款 02 項 01 目 17

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	6章	人と人のつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち	根拠となる法令、条例等	川越市男女共同参画推進条例
方向性(節)	1節	ふれあいと思いやりのある地域社会の形成		
施策	3	男女共同参画社会の実現	個別計画等の名称	第四次川越市男女共同参画基本計画
細施策	1	人権の尊重と男女共同参画への意識づくり		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	すべての市民を対象に、各種イベントの開催及び情報紙の発行を通じて、男女共同参画社会の形成に向けた普及・啓発を図る。また、男女共同参画に関する情報収集や交流が行える場を提供し、地域で活動する女性を支援することにより、男女共同参画への理解を深め、女性の社会参画を促進させる。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	イーブンライフin川越は、平成21年度から川越市女性団体連絡協議会との協働委託事業として共催。情報紙は、平成22年度から川越市女性ネットワークとの協働委託事業として発行。川越市女性活動支援のひろばは、川越市女性団体連絡協議会の活動の場として利用すると共に、相談室では女性カウンセラーがさまざまな女性相談に応じている。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		3,286	1,897	1,436	1,275	2,700	
事業費	A	1,998	1,327	1,271	1,278	2,700	1,220
	B	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850
総コスト(C=A+B)		3,848	3,177	3,121	3,128	4,550	3,070
正規職員(1年間の従事人数)		0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	1,800	0
市の財政負担(=C-D-E)		3,848	3,177	3,121	3,128	2,750	3,070

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	参加人数	人	438	286	286	210	イーブンライフin川越の参加人数
成果	発行部数	部	18,000	8,000	5,000	5,000	情報紙の発行部数

中心指標の考え方	本事業は成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	イーブンライフin川越の実施も、情報紙の作成も、現在は「協働委託事業」として実施している。今後も引き続き、同様に取組んでいく予定である。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題 効率性に課題
男女共同参画社会の実現を目指すためには、市民への男女共同参画意識の普及啓発が重要であるが、各種講演会や情報紙の発行に終始するのではなく、他の視点からも啓発方法を模索することが必要である。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	男女共同参画を促進するためには、意識啓発活動は重要な手段であり、男女共同参画施策の必要性は市民からも求められているものである。故に、より効果的な普及啓発方法について研究し、充実を図りながら継続していく必要がある。
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
男女共同参画を推進するためには、市民はもちろんのこと、学生などの若い世代や様々な分野の事業者への周知が必要となります。その活動を担う女性団体等は、今後も協働委託事業等により普及啓発を続けていただくと共に、新たな意識啓発活動を模索していく必要があると思われる。	